

社会福祉法人がめざす認知症に やさしい地域づくり

社会福祉法人三宝会
浅羽ケアマネジメントセンター 森田文江
法人本部 荒浪 威

施設概要

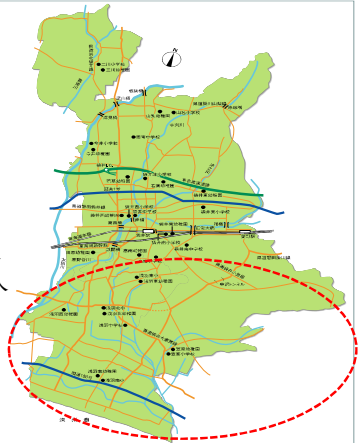
特養 90床
短期入所 9床
通所介護 50名
通所型サービスA 15名
小規模多機能 29名
居宅介護支援事業所
地域包括支援センター



袋井市
浅羽地域

高齢化率 26%

人口 21,000人
65歳以上 5,600人



認知症の人への理解



地域全体の介護力の向上
介護職員
住民



安心して暮らせる地域づくり



認知症にやさしい地域を創る会

認知症にやさしい地域を創る会

平成26年4月 発足
浅羽地域の介護職員有志
アドバイザー 地域の開業医
溝口哲弘医師



地域の介護事業所
職員向けセミナー



住民向けセミナー

地域内のコミュニティセンター 5ヶ所
順番に講演を開催




平成29年 若年性認知症の方との出会い

この地域で暮らし続けるには

カミングアウト

当事者の声を地域に届ける

平成29年度 第1回 認知症にやさしい地域を創る会



**若年性認知症になっても暮らしやすいまちづくり
～本人・家族が語る 日々の暮らし～**

認知症になっても自分らしく生きられる社会、本人の意思が尊重される社会の実現が求められています。
本人や家族が希望をもって暮らすためには、「医療」や「介護」による支援だけでなく、地域での支え合いも重要です。
今回、本人、家族に加えて、日頃お二人を支えている地域住民の方にも御参加いただき、日々の様子を御話し頂きます。

**とき：平成29年5月16日（火）
19時～20時30分**

当事者、近隣の方の話から

認知症になったことを公表

近隣の人も自然な形で見守り

配偶者の入院、介入が必要？

支援のきっかけがつかめなかった

当事者の声を地域に届ける



本人承諾のもと写真掲載

地域で何ができるかを寸劇で提案



今後の課題

認知症という言葉にとらわれない

カミングアウトについて